

# 平成29年度「小学校外国語教育 授業指導力アップ研修会」を開催しました。

## 11/6 小・中学校から86名参加 木津川市立相楽台小学校にて ~

### 相楽台小学校 3年生と6年生で公開授業



3年生では「What ... do you like?」、6年生では「Let's go to Italy.」の単元で授業を公開していただき、児童は、生き生きとした表情で自信を持って英語を使っていました。



- 何よりも児童がやる気、目的意識を持ち、主体的に活動している姿に感動しました。
- チャンツもリズム良く程良いスピードで行われていて、子どもも楽しんでいるのが印象的でした。Activityでは「間違っているよ」、「こう言うんだよ」などと教え合っていたり、プラスアルファの言葉も使って行っていて、外国語を使ってみたいという意欲の高さを感じ取れました。
- 先生の英語による指示に対して子どもたちがスムーズに動いていたことから、普段からの積み重ねが大切だということ学びました。（参加者の感想より）

課題提起では、新学習指導要領の実施に向けて、①英語で児童とやりとりを行う。②言語活動を充実する。③チーム学校で取り組む。④小中連携を図るの4点の大切さについて説明しました。

福井先生からは、相楽台小学校の研究について報告していただきました。

### 課題提起



### 取組報告

### 講演



京都外国語大学の山本玲子先生から「コミュニケーション力育成につながる言語活動の工夫」と題して、身体性の大切さや言語活動の工夫について教えていただきました。

- 国語科と英語科の関わり、ローマ字と英語の違い、小学校で指導すべきポイントを聞けて勉強になりました。授業で大切にするとところを公開授業をモチーフにして教えて頂けたことが大変良かったです。早速、校内研修で知らせていきたいです。
- 身体や心に響く授業が大切なんだと思いました。アウトプットを急がずインプットをしっかりとっていくことが即興性やコミュニケーションにつながると改めて学びました。
- 五感にしみこませる大切さを学びました。ロールプレイの際に台本なしでコミュニケーションをとれるようにするために、しっかり手順をふむことが大切だと分かりました。いろいろなバリエーションで子どもの認知に対して徐々に負荷をかけることを今後の参考にしていきたいです。（参加者の感想より）